

05

今後の予定と内容の
変更のお知らせです

作画と作句について



■ここまでの話し合い

4回の話し合いで決まった50個の「カルタにして伝えたい泉南の魅力」。50音すべて（「ぬ・糸・を・ん」も使う）を使っても48個で、2文字足りません。

なので、残り1個（泉南市のまちの紹介）は当てはめる文字はありませんが「49枚目のカルタ」として使用。最後の一個（泉南市の子どもの権利に関する条例）は箱書きで紹介することにしました。

そうしていい理由も考えたのですが、まず「ぬ・糸・を・ん」を使うのは、文字数を稼ぐためでもありますが、旧仮名遣いとして使われていたひらがなを知ってもらうことにもつながるとの配慮からでした。

■句を作る側の意見 - 先生方と（1/28）

ここまで決まったところで、句づくりに協力していただく小学校国語部会の先生方に相談してみました。内容は、①ここまでの経過、②スケジュールの調整などです。

「ぬ・糸・を・ん」は使わず、撥音・濁音がつく文字に

ここまでの経過をふまえた先生方との話し合いの結果、変更点が出てきました。「ぬ・糸・を・ん」を使うのではなく、「ぱ」や「ば」などの撥音・濁音を使うことになりました。理由は、「カルタは読んでいる句を聴いて札を取るゲームなので、音が聞き分けられないもの（「え」と「糸」など）や、頭文字で始まらないもの（「ん」）ができるからです。言われてみるとその通りで、子どものお手つきが増えるだけ。楽しい遊びにするために、ややこしい要素は避ける方がいいとの考えからです。

結果、「ぬ・糸・を・ん」と「49枚目のカルタ」の5つは、撥音か濁音で自由に句を作ってもらうことになりました。

五十音で始まるフレーズを決めて、続きを考えてもらう

楽しい要素だけを積み上げるため、句づくりの方法も先生方にお任せすることに。出来上がった句から、五十音を選ぶのではなく、各校に五十音を割り振るかたちに。さらに「レンガ」の場合、この句は「あ」からはじめると決めるだけではなく、「あちこちに」とお題を出して、続きを考えてもらうことにしました。というのも「あ」から始まる句とすると、児童たちのモチベーションはダダ下がりになるのではとの配慮からです。なので、句づくりの資料に入れることとしていた句の作例は不要となりました。

句の頭文字を絵札に使うことに

前回の話し合いで棚上げにした、絵札の文字の扱い。句の頭文字をとるのか、句の中の切りのいいところを取るのか、先生方に相談してみました。

どちらかといえば、句の最初の文字を絵札に使う方がよいとのこと。小学校でのスタンダードはこの形で、子どもたちはカルタといえば句の頭文字が書いてある絵札を取り合うゲームと理解しているからです。「ここだけルール」をつくと、出来上がったカルタを使う子どもたちが混乱して「モーやめた！」になるかもしれないとのこと。使い続けてもらえるためには、楽しく遊べるのが最優先。なので句の頭文字を絵札に使うことに決定しました。

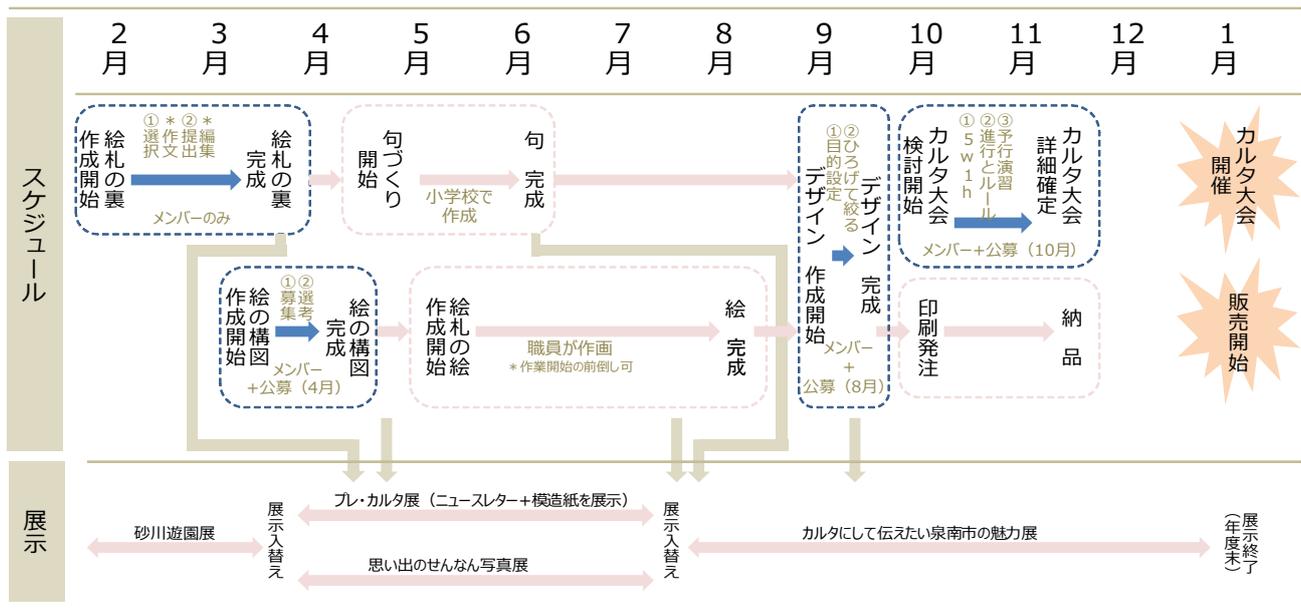
イメージは↑の絵のようになりますが、575調でリズムを持たせることにしたので、出来上がりはこんな感じになるはずです。

読み札「あらこも！ 樽井のまちは 坂のまち」

絵札の文字「あ」

絵札の絵「樽井の坂の絵（仁右衛門坂など）」

絵札の裏（坂のまち樽井の説明）



カルタ大会までのスケジュール（あくまで予定です）

6月には句ができるかも？

あとはスケジュールの確認。4月に資料をお渡しして、句ができるのが早くて6月ぐらいになるとのこと。できた句は埋蔵文化財センターで展示させていただくことになりました。

いろんな用途に使えるよ！という話に

せっかく出来上がったカルタ。より多くの機会に使っていただくことが大切です。先生方にアイデアを聞いたところ、でるわでるわ。

「こんなところ知っている？」といった保護者の人とのコミュニケーションに使える、校区外にこんなところがあるといった学習にも使える、等といった具合さらに画像のデータだけをつかって「どこの学校区にあるのか？」クイズなんかもおもしろそうとのこと。小学校でカルタとしてはもちろん、絵だけとかでも色々な用途に使えるそうです。

■絵を描く側の意見

作画担当の職員と、絵をかいてもらうにあたっての注意点、スケジュールなどを話し合いました。絵は、手描きの水彩画で、かわいらしく親しみやすい感

じの絵です。

描いてほしい絵の構図を写真で渡す

絵を描く方法は、写真をそのままなぞって、描くことに。ですので、アングルや大きさ、細部の細かいところも、思った通りの写真を用意する必要があります。

写真の大きさははがき程度のもの

大きい写真のほうが、細かいところも表現できるのでは？と思われるはず。でも、カルタにするときは、両辺が10センチ未満。縮小する必要があるので、こまかく描いても、結局真っ黒になってしまいます。

確定した写真から渡す

すべて出そろってから作画を依頼するのではなく、決まったものから順次渡して描いてもらうことに。ですので、予定では一応5月から作画としていますが、前倒しは大歓迎だとのこと。

絵の完成は9月が目標

すべての絵が出そろるのは、9月頃。とても楽しみです。

一緒にカルタづくりをしてみたい方、大歓迎です

問合せ・ご意見は、

泉南市埋蔵文化財センターまで TEL:072-483-6789

メールアドレス：maibun@city.sennan.lg.jp